

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成30年10月11日(2018.10.11)

【公表番号】特表2016-522276(P2016-522276A)
 【公表日】平成28年7月28日(2016.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報2016-045
 【出願番号】特願2016-508028(P2016-508028)
 【国際特許分類】

C 0 9 K 19/38 (2006.01)

C 0 9 K 19/54 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 19/38

C 0 9 K 19/54 B

C 0 8 F 2/44 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

球状、長球状または準トロイダル形状を有するコレステリックポリマー粒子を含む、層または物品であって、光の選択的ブラッグ反射を示し、および1種または2種以上の単反応性RM、1種または2種以上の二反応性または多反応性RM、1種または2種以上の光開始剤および少なくとも1種のキラル添加剤を含む組成物の不均一重合により得ることができる、前記層または物品。

【請求項2】

コレステリックポリマー粒子が、連続相中に分散している、請求項1に記載の層または物品。

【請求項3】

連続相が、液体、液晶媒体、溶媒、重合性媒体またはポリマーである、請求項2に記載の層または物品。

【請求項4】

連続相が、光学的に等方かつ透明である、請求項2または3に記載の層または物品。

【請求項5】

連続相が、< 1.0の誘電定数を有する1種または2種以上の有機溶媒を含む、請求項2～4のいずれか一項に記載の層または物品。

【請求項6】

連続相が、ケトン類、アルコール類、芳香族溶媒類、脂肪族炭化水素類、脂環式炭化水素類またはハロゲン化炭化水素類から選択される、請求項2～4のいずれか一項に記載の層または物品。

【請求項7】

光の単色反射を示す、請求項1～6のいずれか一項に記載の層または物品。

【請求項8】

コレステリックポリマー粒子が、以下のステップを含む懸濁重合のプロセスにより製造

される、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の層または物品：

- a) 1 種または 2 種以上の単反応性 R M、1 種または 2 種以上の二反応性または多反応性 R M、キラル添加剤、および光開始剤を、互いに混合し、混合物をその等方相へと加熱し、および混合物をコレステリック相を呈する温度へと冷却する、
- b) 混合物を溶媒および界面活性剤と混ぜ合わせる、
- c) R Mを乳化し、
- d) R Mを光重合により重合する。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の層または物品の製造方法であって、コレステリックポリマー粒子を液体に分散させ、分散したコレステリックポリマー粒子を有する液体を基板上に堆積させ、および任意に液体を除去することによる、前記方法。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の層または物品の、光学素子または熱フィルムにおける使用。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の層または物品を含む、光学素子。

【請求項 12】

光学的遅延板、光学的補償板、直線偏光板、円偏光板、ミラー、コリメータ、拡散板、ビームスプリッタ、反射板、カラーフィルタ、単色膜、多色膜、配列層、偏向制御レンズ、または IR 反射板である、請求項 11 に記載の光学素子。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の層もしくは物品または請求項 11 もしくは 12 に記載の光学素子を含む、電気光学デバイス、光学的データ記憶デバイスまたは窓。

【請求項 14】

LCディスプレイ、オートステレオスコピック 3Dディスプレイ、電気泳動ディスプレイ、または有機発光ダイオード (O L E D) である、請求項 13 に記載の電気光学デバイス。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

R M混合物が用いられる場合、それは好ましくは 1 種または 2 種以上の単反応性 R M、および 1 種または 2 種以上の二反応性または多反応性 R Mを含む。